

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和01年11月29日

計画の名称	尾道市公共下水道												
計画の期間	平成28年度 ~ 平成30年度 (3年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	尾道市												
計画の目標	汚水管の整備に伴う汚水量の増加に対応するため、平成29年度までに水処理施設の増設を行う。また、平成30年度までにおのみち地区し尿処理場の能力超過分の浄化槽汚泥を尾道市浄化センターで受け入れ処理（MICS事業）を行う。併せて汚泥濃縮機の増設も行う。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,137	A	1,106	B	0	C	31	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	2.72	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H29末	H30末
1	汚水量の増加に対応して、水処理施設を2池から3池に増設を行い処理能力を6,000m ³ /日から9,750m ³ /日に増加させる。 水処理施設増設の進捗率 整備完了施設/整備目標施設	0%	100%	100%
2	浄化槽汚泥受け入れの為、機械濃縮器、機械濃縮棟、汚泥混合貯留槽、送泥施設、汚泥監視装置等を新設する。 污水处理施設共同整備（機械濃縮を含む） 整備完了施設/整備目標施設	0%	60%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H28	H29	H30	H31	R02					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	終末処理場	新設	尾道市浄化センター	B系水処理施設(機械・電気設備等)	尾道市						401		-		
	A07-002	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	終末処理場	新設	尾道市浄化センター	機械濃縮棟、機械濃縮機	尾道市							451		-	
	A07-003	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	終末処理場	新設	汚水処理施設共同整備事業	汚泥混合貯留槽等	尾道市							254		-	
											小計							1,106			
											合計								1,106		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	尾道市	直接	尾道市	終末処理場	新設	汚水処理施設共同整備事業	送泥装置整備	尾道市						31		-
		下水道事業 A07-003 と一体的に整備することにより、浄化槽汚泥を含めた効率的な処理ができる。																	
											小計						31		
											合計						31		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本市上下水道局内及びMICS事業関連組織にて評価を実施	令和元年度（事業終了後）
	公表の方法
	尾道市公式ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業期間である平成28～30年度工事として水処理施設の増設を行い、全体計画区域の汚水量を目標とした水処理能力に達した。 ・本事業期間である平成28～30年度工事として汚水処理施設共同整備事業を完成させて、浄化槽汚泥を含めた効率的な汚泥処理を開始することが出来た。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道10年概成に向けて下水道の整備を進めていく。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

社会資本総合整備計画

